

2016年01月17日(日) 千里キリスト教会 主日礼拝説教

聖書箇所 詩篇 143 : 01~12

説教主題 「わが魂を愛するイエス」

説教者 徳本 篤 師

序論) ダビデとパウロには共通点がある

ダビデの信仰告白 「主よ。あなたの御名のゆえに、私を生かし、あなたの義によって、私のたましいを苦しみから連れ出してください。あなたの恵みによって、私の敵を滅ぼし、私のたましいに敵対するすべての者を消し去ってください。」(詩篇 143 : 11~12)

パウロの信仰告白 「神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるでしょう。私たちをキリストの愛から引き離すのはだれですか。私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。」(ローマ 8 : 31~39 抜粋)

どちらも信頼に満ちた大胆な信仰の告白ですが、このダビデとパウロの共通点はどちらも「神のしもべ」としての自覚をもっていることです。

「私はあなたのしもべですから」(詩篇 143 : 12)

「キリスト・イエスのしもべパウロ」(ローマ 1 : 1/ピリピ 1 : 1)

本論)

しもべ(エーベド)とは使用人、召使い、奴隷、さらには王に指名された専用の召使いまで幅広い意味があります。主人に選ばれた人、信頼される人、愛される人、仕事を頼みやすい人、忠実に働いてくれる人などのイメージが湧いてきます。

聖書には実に大勢のしもべたちが登場し活躍しています。

「わたしのしもべアブラハム」	創世記 26 : 24
「神のしもべモーセ」	第1歴代 6 : 49、ダニ 9 : 11
「神のしもべダビデ」	詩篇 144 : 10
「わたしのしもべイザヤ」	イザヤ 20 : 3
「神のしもべダニエル」	ダニエル 6 : 20
「神のしもべパウロ」	第Ⅱコリント 6 : 4, 8 テトス 1 : 1
「イエス・キリストのしもべヤコブ」	ヤコブ 1 : 1
「イエス・キリストのしもべシモン・ペテロ」	Ⅱペテロ 1 : 1
「イエスキリストのしもべヨハネ」	黙示録 1 : 1

このように見ると、旧約時代と新約時代、聖書の時代と現在の時代、それぞれに時代や背景に違いはあれど、共通して言えることはどの時代においても私たちは神のしもべとして生きることが可能であるということです。

適用) 神のしもべが持っている特徴

1 神のしもべは、神がこの世の多くの人々の中から自分が選び出されたことを喜んで受け入れ、その呼びかけに応じて忠実に生きようとする自己イメージを持っています。

「あなたがたがわたしを選んだのではありません。わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。」

(ヨハネ 15 : 16)

例話) 今年 4 月には結婚 40 周年を迎えます。家内から自分のどこを気に入って結婚しようと思ったかを尋ねられると、返答に困ってしまいます。美人だからとか、可愛いからだとか、何かができるからだとか言えばこの世にはそんな人が大勢いますので理由になりません。気が合ったのです。神の導きです。

私たちがキリストに選ばれた理由もおそらくは全く同じだと思います。資格や条件によってではなく、キリストがご自分の主権で選んでくださったのです。私たちは自分がキリストに選ばれたことを素直に喜んで受け入れるべきではないでしょうか。

2 神のしもべは、自分が神によって立たせられているという自覚を持っています。

「しもべが立つのも倒れるのも、その主人の心次第です。このしもべは立つのです。なぜなら、主には、彼を立たせることができるからです。」(ローマ 14 : 04 抜粋)

自分で立とうとすると倒されないようにするのが大変です。挫折、行き詰まり、困難、スランプ、非難を受けたり、誤解されたりすることがあるからです。主がしもべたちを立たせてくださるのです。私たちがあきらめそうな時でも、キリストがあきらめてしまわれぬ限り何度でも立たせてくださるのです。

3 神のしもべは、自分の将来の結末が神の御名の栄光のもとに置かれていることを確信しています。

「私は、この福音のために、宣教者、使徒、また教師として任命されたのです。そのために、私はこのような苦しみにも会っています。しかし、私はそれを恥とは思っていません。というのは、私は、自分の信じて来た方をよく知っており、また、その方は私のお任せしたものを、かの日のために守ってくださることができると確信しているからです。」(2 テモテ 1 : 11~12)

「ですから、私の愛する兄弟たちよ。堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは自分たちの労苦が、主にあつてむだでないことを知っているのですから。」(I コリント 15 : 58)

神のしもべである自分の人生は神が責任をもって保証しておられる。もし自分が敵に屈服するようなことにならば神の御名が地に落ちることになるので、従ってそんなことは決してあり得ないことです。

神のしもべの視点に立って、あらためて詩篇 143 を読んでみましょう。このみことばは全部あなたのものです。あなたによく似合うすばらしいことばです。(実際に音読する)

応答)

今週もあなたのたましいを愛する主を慕い求めながら、しもべらしく歩んでいきましょう。